



学習会とワークショップで理解を深める 「Z世代の傾向」を開催しました！

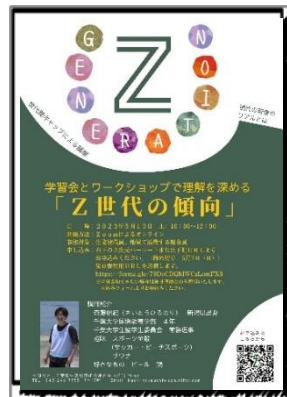
5月13日（土）に現役大学生による「学習会とワークショップで理解を深める『Z世代の傾向』」をZoomによるオンラインで開催し、20名の参加者がありました。なお後日配信希望には24名の申し込みがありました。

はじめに、千葉県生協連の上山専務理事より『2022年度に開催した「大学生協と地域生協の交流会」中で、現役千葉大生より「現代の若者について」の講演をさせていただいたところ、大変興味深い内容で、ぜひもっとたくさん関係者に聞いてほしいという要望が多く寄せられました。また生協の事業や活動に多くの若い世代が利用したり参加したりすることは今後の大きな課題ということもあり、Z世代と呼ばれる若者の考え方や消費行動、情報収集について知ることは重要と考えられます。組織の中で話題になることを願っています。』と挨拶がありました。

学習会では、一般論としての若者像に加え、リアルな若者の感覚を個別の事象を挙げながら・Z世代の脳内理解、・Z世代が重要視される理由・Z世代の特徴を把握し理解するないようとなっています。

X～Zの世代分類のそれぞれの世代に社会的な背景があり、その中でもZ世代は生まれたときからインターネット環境が備わり、スマホ、SNSなどの恩恵を大いに享受していることは、他の世代との大きな違いがあります。そのことはZ世代を理解してくうえでの大前提となります。

デジタル当たり前世代の近い将来の消費者であるZ世代は“情報量（質ではなく量）”により社会や人と繋がる実感をもつため、情報の収集、発信、共有に対しては敏感であること、所属コミュニティを使い分けて繋がること、さらに情報によって現実を知ることができるため将来の夢、希望を持たない、などの実態について、事例やその理由などを挙げながら説明がありました。大量の情報を効率よく得ることは、失敗を嫌う彼らにとって必須になっていることなどもわかりました。



講師 斎藤裕紀さん

後半は4つのグループに分かれて、感じたこと、理解できたことまた保護者の立場など、自由に話し合いました。また事前にお寄せいただいた質問に講師にお答えいただきました。参加者からは社会に対する責任や、これからの若者たちとのかかわり方、また2035年の生協の在り方まで様々な意見がでました。



グループワークに参加されたみなさん

参加者アンケートより（一部抜粋）

- ・Z世代の考え方や特徴など、当事者から実際に話を聞いたのがよかったです。彼らが世界や社会の問題に敏感だけど、将来に希望が持てないというのは、彼らのせいだけではなく私達上の世代の問題でもありますね。もっとお互いの共通点を見つけて、対話をしていく必要があると感じました。Z世代は何を考えてるかわからないと嘆くより、お互いを知る努力をしていこうと思います。今日は貴重な学習会の機会を頂きありがとうございました。
- ・印象に残ったのが「無目的に大量の情報や動画を消費している状態（be）こそが心地よく幸せと感じており、一瞬たりとも不快になりたくない」という部分で、まさにうちの息子たちにも共通すると思いました。
- ・ただ話を聞くだけでなく、グループワークができたことで、内容を復習したり深めたり、他の生協の方の考えを伺えたりできて良かったです。
- ・Z世代の方々の発想や知識は私達X世代には思いもつけない事が多く最新技術や斬新な発想がある。その反面、新聞をとらない、読まない、映画やテレビも倍速見、と効率を求めるZ世代だが、紙面には自分に必要ない情報もたくさん載っている。そういった事も大切だと思う。
- ・リアルで繋がっている人と、SNS上でいざこざが起きたら1タップするだけで関係を断つことも躊躇しない。X世代は、次リアルで会った時どんな顔すればいいのか？と思うと、仕方なくつながってることもあるけど、若者はその部分は思考停止していて、とにかくSNS上では性格や好みが合わないからブロック、と行動するという話が面白いと思いました。
- ・Z世代さん、ごめんなさい。の話はみんなから出ました。夢を持つより現実的に判断するという話しを斉藤さんからうかがい、全く夢がないのかそれとも可能性のある中で夢を持って進むこともあるのかとの話しになりました。